

透明高導電コーティング剤

デナトロン PT-455

○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 高透明で低抵抗
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

- タッチセンサー
- EMI/ESD シールド
- 透明電極



○ 液物性 ○

	PT-455-A	PT-455-B
外観	濃青色	乳白色
主な成分	導電材	導電性向上剤 バインダー樹脂
主な溶剤	水	水・アルコール
pH	2~3	5~7
粘度	10~50 mPa・s	2~30 mPa・s
貯蔵安定性 (1~10℃)	6か月以上	6か月以上

混合
>>

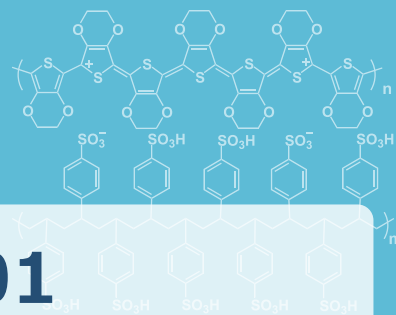
PT-455
混合比率 (wt%) A液 : B液 = 8 : 2
pH = 2~3
固形分 2.5wt%
フロアライフ 1週間

○ 膜物性 ○

	配合比率 (wt%)		塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 [※] (%)
	A	B			
塗工例 1	80	20	4	550	89
塗工例 2	80	20	12	180	85
塗工例 3	80	20	22	100	81

* 全光線透過率 : フィルム基材値込み PET FILM (全光線透過率 : 90%, Haze : 0.9%)

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご理解をお願いいたします。
また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明導電ペースト デナトロン SP-801

○ 特長 ○

- スクリーン印刷対応
- 導電性ポリマー（PEDOT:PSS）を使用
- 高透明で低抵抗
- 導電性ポリマーの劣化抑制処方を採用

○ 用途例 ○

- タッチセンサー、タッチスイッチ
- 電磁波シールド
- フィルムヒーター

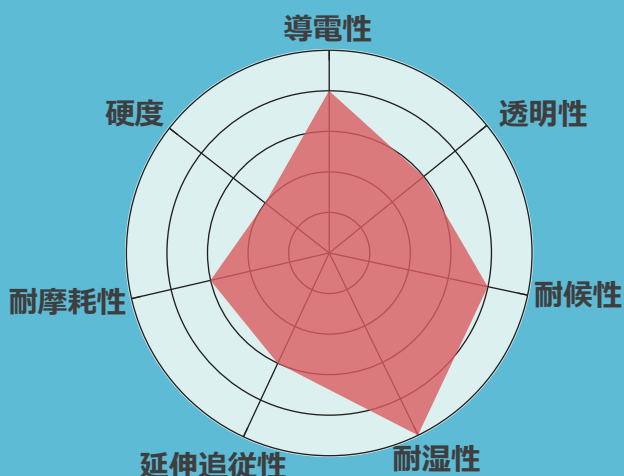


○ 液物性 ○

	SP-801
外観	濃青色
主な成分	導電材・バインダー樹脂
主な溶剤	水・プロピレングリコール
pH	2~3
粘度	1,000~3,000mPa・s
貯蔵安定性 (1~25℃)	12 か月以上



○ 膜物性 ○



	メッシュ数 (本 / inch)	塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)	L/S (μm)
塗工例 1	460	7	500	99	200/200
塗工例 2	300	10	300	98	
塗工例 3	255	13	200	97	

耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
 耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
 耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではございませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。

More Information

ナガセケムテックス株式会社

機能化学品事業部

Mail : ncxmail_fcd@ncx.nagase.co.jp

高導電コーティング剤
デナトロン Type-P TX-401

- ポリチオフェン系導電性ポリマー(PEDOT:PSS)をベースとした高導電コーティング剤です。
- 塗工膜厚を調整し乾燥することで導電性能の調整が可能です。
- 繊維に含浸させ繊維電極を作製することが可能です。



液特性

項目	代表値	
外観	濃青色	
粘度	< 100 mPa・s	
pH	6 - 9	
固形分	4.0%	
保存安定性	25℃	6か月以上
	40℃	3か月以上

塗工膜厚別の膜特性 (PETフィルムへの塗工例)

項目	水準1	水準2	水準3	水準4
デナトロン使用量 g/m ²	4	12	26	34
全光線透過率 %	98.2	88.5	74.4	65.8
初期表面抵抗率 Ω/sq.	500	160	80	60

液の作製から塗工について

- ①狙いのデナトロン使用量を計算し所定の膜厚で塗工して下さい。
※例えば26g/m²を塗りたい場合
原液を塗工膜厚26μm(26g/m²)で塗工した際の使用量は10g/m²です。
- ②130℃3分程度で乾燥してください。
※乾燥オープンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ないことがあります。その場合は乾燥温度・時間を上げるなどし、表面のタック性が無くなるまで乾燥して下さい。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。ご使用の際にはSDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。